

資料 3

和木町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

平成27年度～平成30年度

和木町では「わきはあったか大家族～あいさつと子どもがつなぐ 地域のきずな～」を基本理念に、和木町子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児期の教育・保育と子ども・子育て支援の充実を図り、本計画に沿って各種の子育て支援施策（事業）を展開しています。

本計画に定めた子育て支援施策の点検評価を行い、質の高い保育や幼児期の教育、ニーズに応じた子育て支援事業の実現に向けた、現在の取り組みや内容及びその進捗状況を確認することで、あらたな課題の抽出や効果的な事業展開に役立てるとともに、今後の施策及び事業の見直し・改善に役立てていきます。（1）教育・保育給付

■ 1号認定者（3歳～5歳、幼稚園及び認定こども園）5月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見 込 値	108	104	106	105	106
確 保 方 策	108	104	106	105	106
実 績 値	109(0)	107(2)	118(4)	109(4)	—
内部評価					
評 価 結 果	1号認定こどもについては、実績値は上回ったものの、利用可能定員内であったため、待機等は発生しませんでした。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	ニーズを把握しながら定員管理を行っていく必要があります。				

■ 2号認定者（3歳～5歳、保育所及び認定こども園）4月1日在籍児童数（ ）は広域利用者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見 込 値	93	89	91	91	91
確 保 方 策	93	89	91	91	91
実 績 値	92(7)	93(5)	104(7)	107(9)	—
内部評価					
評 価 結 果	○平成27年度は和木幼稚園にて保育を実施しました。 ○平成28年度からは、和木幼稚園は幼稚園型認定こども園に移行。利用定員を103名としました。 ○平成29年度は、定員を上回ったものの、クラス内の人数は定員内であったため保育可能でした。 ○町外の施設を希望する方については、その都度利用調整をしましたが、希望どおりの施設に行けないこともありました。和木幼稚園での保育については、定員に余裕があり、待機児童は発生しませんでした。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	3歳から5歳については、現状受け入れることが可能ですが、ニーズを把握しながら定員管理を行っていく必要があります。				

■ 3号認定者（0歳保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

（ ）は広域利用者数

※地域型保育は該当なし

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見 込 値	14	15	14	14	14
確 保 方 策	14	15	14	14	14
実 績 値	2(0)	5(0)	6(2)	3(1)	—
内部評価					
評 価 結 果	年度当初は利用が少なく、年度末に向け増加していきますので、年度末には全て埋まってしまいます。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	年によっては、ニーズが見込み量を超えてしまう恐れもあるため、適切な定員を設けていく必要があります。また、保育士の確保についても安定的に行っていく必要があります。				

■ 3号認定者（1歳から2歳、保育所及び認定こども園、地域型保育）4月1日在籍児童数

※地域型保育は該当者なし

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見 込 値	55	56	55	54	54
確 保 方 策	55	56	55	54	54
実 績 値	48(5)	52(4)	54(7)	51(8)	—
内部評価					
評 価 結 果	4月当初は見込値を下回るものの段階的に定員は全て埋まってしまう状況です。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	年によっては、ニーズが見込み量を超えてしまう恐れもあるため、適切な定員を設けていく必要があります。また、保育士の確保についても安定的に行っていく必要があります。				

(2) 地域子ども・子育て支援事業

■利用者支援事業

事業内容：子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業					
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見 込 値	1	1	1	1	1
確 保 方 策	1	1	1	1	1
実 績 値	1	1	1	1	—
内部評価					
評 価 結 果	平成30年12月より住民サービス課から教育委員会事務局に窓口が変更となりました。住民の保育ニーズの相談窓口として機能しています。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	継続維持				

■地域子育て支援拠点事業

事業内容：乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	479	465	460	453	446
確 保 方 策	479	465	460	453	446
実 績 値	735	1,282	1,390	814	—
内部評価					
評 価 結 果	いずれの年度においても、利用実績値は高いので、ニーズが非常に高いものという結果になっています。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	ニーズは高いため、必要な保護者と乳幼児が交流できる場所として事業を継続維持していく必要があります。昨年度までは、和木保育所内、平成３１年度より和木こども園内にて子育て支援センターを開設しています。				

■妊婦健康診査

事業内容：妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見込値	910	924	910	882	882
対象人数	65	66	65	63	63
検診回数	14	14	14	14	14
実績値	832	974	753	858	—
対象人数	60	70	54	61	—
検診回数	14	14	14	14	—
内部評価					
評 価 結 果	妊婦のほとんどが、健診を受診しています。				
今後の方向性	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、今後も定期健診の受診をすすめていきます。維持継続。				
今後の課題	妊婦健康診査未受診者がいた場合、医療機関と連携を取りながら必要な支援を行う必要があります。				

■乳児家庭全戸訪問事業（乳児家庭訪問）

事業内容：生後４ヶ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	65	66	65	63	63
確 保 方 策	65	66	65	63	63
実 績 値	70	75	77	62	—
内部評価					
評 価 結 果	すべての家庭を訪問することができています。訪問により情報提供や養育環境等の把握など、必要な支援を提供しています。				
今後の方向性	今後もすべての家庭を訪問することが出来るよう取組みを強化します。				
今後の課題	長期間の里帰り等で家庭訪問が実施できない場合は、里帰り先の自治体に訪問を依頼するなど連携を取りながら支援を行う必要があります。				

■養育支援訪問事業等

事業内容：養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	３	３	３	３	４
確 保 方 策	３	３	３	３	４
実 績 値	１５	１９	２３	１８	—
内部評価					
評 価 結 果	養育支援が必要な家庭を把握し、定期的に訪問を行うことができます。適切な養育の実施を確保することが出来るよう、指導、助言を行っています。				
今後の方向性	今後も支援を必要としている家庭への指導、助言を行います。				
今後の課題	年々、支援が必要な家庭が増加している現状があります。家庭の状況に合わせた支援を行っていく必要があります。				

■子育て短期支援事業（ショートステイ）

事業内容：保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	０	０	０	０	０
確 保 方 策	０	０	０	０	０
実 績 値	０	０	０	０	—
内部評価					
評 価 結 果	現在の利用者はいません。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	利用者はいませんが、社会資源等についての的確に把握し、ニーズに応じた対応が可能な体制を構築する必要があります。				

■ファミリー・サポートセンター事業（低年齢及び高学年）

事業内容：乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	０	０	０	０	０
確 保 方 策	０	０	０	０	０
実 績 値	０	０	０	０	—
内部評価					
評 価 結 果	事業を実施していません。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	周辺自治体等の状況等を把握。ニーズが見込まれるようであれば、事業実施に向けた調査研究を行う必要があります。				

■一時預かり事業（幼稚園在園児対象１号認定者）

事業内容：家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	543	533	549	554	538
確 保 方 策	543	533	549	554	538
実 績 値	322	242	566	322	—
内部評価					
評 価 結 果	各年度とも、バラつきがあります。保育の認定を受けずに働くスタイルも可能としていますが、年度ごとに、保護者のニーズが異なっています。２９年度については、教育認定のまま、一時預かり事業を利用した方が多い結果となりました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	今後もニーズに応えるために継続維持が必要です。				

■一時預かり事業（在園児対応以外）

	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	439	428	432	431	422
確 保 方 策	439	428	432	431	422
実 績 値	16	20	44	76	—
内部評価					
評 価 結 果	利用定員に空きがない場合は、利用ができない状況が生じました。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	平成２７年度から平成２９年度は、単独事業として実施してきました。平成３０年度からは、国補助事業として事業実施。平成３０年度からは広島広域圏において相互の利用協定を締結し、町外の方の利用もありました。事業実施には、保育士の確保が必要となります。				

■時間外保育事業（延長保育事業）

事業内容：保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	58	57	57	57	56
確 保 方 策	58	57	57	57	56
実 績 値	58	37	41	29	—
内部評価					
評 価 結 果	いずれの年度においても、見込値を超えることはありませんでした。				
今後の方向性	継続維持				
今後の課題	継続維持				

■病児病後児保育事業

事業内容：病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等をする事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	０	０	０	０	０
確 保 方 策	０	０	０	０	０
実 績 値	２	１	２４	５１	－
内部評価					
評 価 結 果	平成２７年度に岩国市と広域利用協定を締結。平成２９年度より広島広域圏にて相互の利用協定を締結し、更に、山口県東部地域及び広島県内の病児病後児保育も利用可能となりました。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	継続維持。予算措置等継続して行っていく必要があります。				

■放課後児童クラブ（放課後健全育成事業）４月１日在籍児童数

事業内容：保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室、児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業					
	平成２７年度	平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度	平成３１年度
見 込 値	１２０	１２６	１２１	１１５	１１３
確 保 方 策	１２０	１２６	１２１	１１５	１１３
実 績 値	９８	１０１	９３	１０２	－
内部評価					
評 価 結 果	平成２７年度から平成３０年度にかけては、待機児童は発生していません。				
今後の方向性	継続維持				
今 後 の 課 題	在籍人数は増加傾向にあります。日々の定員を９０名としており、弾力的な運用を行っている状況です。今後、和木小学校の空教室の活用等を検討していく必要があります。				